長崎駅周辺まちづくりシンポジウムやワークショップにおける主な意見への対応（案）

意見の反映状況

区分	内 容	件数
A	素案に修正を加えて反映したもの	0
B	既に素案に含まれているもの、素案の考えに合致し実施段階で配慮するもの	10
C	今後の検討課題とするもの	1
D	反映することが困難なもの	0
E	その他（質問等）	4
合計		15

【指針の運用について】

番号	意見要旨	対応	県・長崎市の考え方
1	ドラゴンpromナード、旭大橋のデザインをどのように誘導していくのか。	B	既存の建物等は、建替えや色彩の変更等の時期に合わせて周辺のまちなみに調和したものとなるよう、専門家にアドバイスを頂きながらデザイン調整を行っていきます。 (P5 上・中段)
2	デザイン指針の実効性について法的な強制力などがないと、民間事業者への指導は難しいのではないかと。	E	駅周辺エリアのデザインの基本的なルールは「長崎市景観計画」や「長崎駅周辺地区計画」で担保されています。それにプラスする形で、専門家、事業者、行政での協議・調整により、調和が図られたまちを創ることを目標としていますので、民間事業者の理解が得られるよう努めていきます。
3	指導（調整）する窓口はどこの部署が受け持つのか。	E	デザイン調整の窓口は、県・市のまちづくり推進室が担当します。

【長崎らしさについて】

番号	意見要旨	対応	県・長崎市の考え方
4	長崎の陸の玄関口として、長崎らしい駅やまちを作ってほしい。	B	長崎らしさについては、駅舎や道路の舗装、建物低層部などに、長崎らしい素材を取り入れることや、季節を感じさせる祭りなどの活動で長崎らしく彩ることで、観光客が長崎らしさを感じられ、印象に残る駅周辺になるようデザイン調整を行っていきます。 (P16 心得 、 P18 心得)

【交通・歩行者動線について】

番号	意見要旨	対応	県・長崎市の考え方
5	県・市は責任を持って駅とまちなかとのつながりを実現してほしい。	B	駅周辺エリアとまちなかエリアの連携のためには、スムーズな公共交通機関の乗り継ぎや、分かりやすい歩行者動線を整備することが重要と考えています。乗換え利便性の高い駅前広場や、分かりやすい案内サインなど、既存市街地へつながるようデザイン調整を行っていきます。 (P12 心得 、 P25 下段、 P29 下段)
6	駅が 150m 程度移動するが、駅前へつなぐ動線をどのように考えているのか。	B	新駅舎が現在地より西側に約 150m 移動することで、新駅舎からバス停、電停までの距離が長くなり、観光客や高齢者、通勤客など駅利用者の負担が増えますので、駅西側地区へのアクセス向上も念頭に、歩行者動線について、検討を行っていきます。 (P12 心得 、 P29 下段)
7	他の公共交通機関への乗り換えの際、雨天時でも濡れずに移動できると良い。	B	歩行の回遊性の向上のみならず、駅からバスや路面電車への乗換えが、雨天時でもスムーズにできるような動線の確保に努めていきます。 (P16 心得 、 P29 下段)
8	バリアフリーには十分配慮して欲しい。	B	駅は多様な人々が利用する空間ですので、誰もが快適に使いやすい空間となるようデザイン調整を行っていきます。 (P12 心得 、 P29 上段)

【景観について】

番号	意見要旨	対応	県・長崎市の考え方
9	駅からの眺望を隔てないように新県庁や県警本部を建築しているとのことだが、逆に他の地域から駅周辺を見たときの眺めについても配慮が必要と思う。	B	駅周辺エリアは、周辺の山並みや港、歴史的な重要地点を眺める「視点場」でもあり、周辺から眺められる「視対象」でもあります。そのため、建築物の建て方は周辺環境や歴史的資源等への眺望に配慮するとともに、周辺の視点場からの見え方に配慮するようデザイン調整を行っていきます。 (P14 心得 、 心得 、 P25 上段、 P32、 P37)
10	稲佐山から見た夜景も検討（議論）してほしい。	B	駅周辺エリアは、周囲を山に囲まれた中心に位置しているため、稲佐山などの眺望点や山腹からの夜景の見え方には特に配慮し、長崎の夜景がさらに魅力的になるよう、デザイン調整を行っていきます。 (P10 心得 、 P18 心得)
11	現在の駅前商店街の建物に助成して、外観だけでもおしゃれにできないか。	C	長崎駅周辺エリア内でも、駅から広場へ降り立った際に目にする建物群の印象は、来訪者にとって重要ですので、デザイン調整のあり方について検討していきます。

【市民の意見の反映について】

番号	意見要旨	対応	県・長崎市の考え方
12	市民の意見を聞いて、反映させることが必要。特に若い世代の意見を聞くことが必要。	E	デザイン指針については、シンポジウムやワークショップなどにより、幅広い世代の市民や県民の皆さまから意見を頂きながら、とりまとめています。
13	市民に対する進捗の状況、アピールが不足している。知らない人にも興味を持たせるようにしてほしい。	E	今後、県・市のホームページや広報誌などで情報を公開していくとともに、必要に応じて自治会の方々や事業者等に対し説明会を実施するなど、多くの方々に周知を図っていきます。

【その他の意見】

番号	意見要旨	対応	県・長崎市の考え方
14	世界遺産への登録などで、観光客が増えると予想され、玄関口である駅が重要なものとなると思いますが、市民の人にとっても行きたくなくなるような、緑などの自然が多い、癒しの場所にしてほしい。	B	駅周辺地区は、長崎の新たな陸の玄関口として、来訪者を迎え入れ、地域の方々には未永く愛されるような緑あふれる空間を創っていきます。 (P24 中段、 P28 上段、 P30 下段)
15	マクロのデザインが視覚的、体感的なものに重点が置かれているが、聴覚的な観点がおろそかに見える。周辺遊興店からの過剰な宣伝、政党の街頭演説など、せっかくの視覚的デザインを損なう騒音への対応も含めて考慮されるべきである。	B	過度な宣伝やビラ配り、呼び込みや音の氾濫は、長崎の玄関口として魅力が損なわれるおそれがありますので、建物のオーナーのみならずテナント入居者にも当エリアの質的向上に対して理解と協力を呼び掛けていきます。 (P38)